

県青連

県女性連

中国・四国ブロック交流会

9月29～30日、岡山シンフォニーホールにて開催された中国・四国ブロック商工会青年部交流会に、本県から71名が参加した。

主張発表大会では、本県代表の三豊市商工会青年部員 矢野太一氏が「青年部と自分をWIN-WINの関係にする」をテーマに発表を行った。青年部を経営の勉強の場にするために奔走したことを会場に熱く語りかけ、優良賞を受賞した。なお、ブロックの代表は岡山県代表に決定した。

記念講演では、両備ホールディングス(株)代表取締役副社長の松田俊之氏が「先人の教えに学ぶ、未来の経営と地域の繁栄に」と題し講演を行い、企業間が競争ではなく、「共創する」として地域を盛り上げていくことが大事だと話した。

9月7～8日、中国・四国ブロック商工会女性部交流会島根大会が、松江市の島根県民会館にて開催され、本会からは50名が参加した。

主張発表大会では、香川県代表の三豊市商工会女性部 青井和代副部長が、10年間続けているまちあるき事業について発表し、優良賞を受賞した。なお、ブロックの代表は、世代交代・世代交流による女性部活動を発表した広島県に決定した。

翌日は、出雲大社、足立美術館などを訪れ、初秋の山陰を楽しんだ。



発表する矢野さん



発表する青井さん



「四国ブロック商工会職員協議会研修会」



新商品パッケージとラベル

10月12日(木) 13日(金) 徳島市のザ・ブランドパレス 徳島において四国ブロック商工会職員協議会研修会が開催され、四国四県から60名の職員が参加した。



発表する大路指導員

本研修会は、商工会職員の資質向上と支援ノウハウの習得、情報共有を目的に四県の持ち回りで毎年開催している。12日は、全国商工会連合会組織運営課 松井課長補佐を講師に、地域の実情にあった経営発達支援計画の実施と個社支援の重要性に関して講演があった。

経営支援事例発表大会には、本県から三豊市商工会の大路孝輔指導員が、「うどんだけ

じゃない!さぬき、もう一つの名物『ええとこ鶏』開発のための伴走型支援く有会社さぬき鳥本舗の事例」と題し発表した。「ものづくり補助金」提案から採択までの支援と、その後の事業実施について、会員事業者と共に新商品開発に取り組んだ日々を熱く語り、審査の結果、優秀賞を受賞した。四国代表は徳島県となった。

翌13日は、アステイ徳島で開催中の「ビジネスチャレンジメッセ2017」の視察研修を行った。ITをはじめとする様々な出展や商談会の様子を視察した。